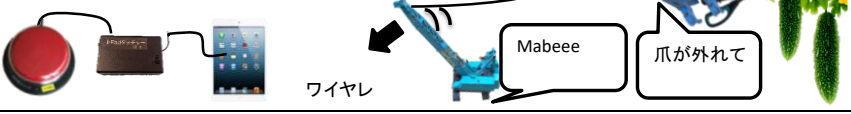


教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校版)

	実践名(実践年度)	野菜を育てよう(平成30年度 2018年度)
参加する 授業に ついて	教科名等 (該当する教科名等を選択。 当てはまらない場合はその他 を選択し、次の単元・題材名 の欄に記入。)	☐ 国語 ☐ 社会 ☐ 算数/数学 ☐ 理科 ☐ 生活 ☐ 音楽 ☐ 図画工作/美術 ☐ 家庭/技術・家庭 ☐ 体育/保健体育 ☐ 道徳 ☐ 外国語/外国語活動 ☐ 総合的な学習の時間 ☐ 特別活動 ☐ 自立活動 ☒ 各教科等を合わせた指導 ☐ その他の教科 ☐ その他()
	単元・題材名	夏野菜(ゴーヤ)を収穫しよう
	授業の目標	・季節の野菜の種類を知り、野菜を育てる際に必要な太陽の光、土、水のおいしさや感触等を感じることができる。 ・それぞれの児童生徒の方法で、引っ張ったり、AAC機器を使用したりして収穫をし、収穫の喜びを感じることができる。
	観点別学習状況の 評価の観点 (教科の特性により設定した観点 がある場合は「その他」を選択し 記載。)	☒ 「知識・理解」 ☒ 「技能」 ☐ 「思考・判断・表現」 ☒ 「関心・意欲・態度」 ☐ その他()
	自立活動の要素	☐ 健康の保持 ☒ 心理的な安定 ☒ 人間関係の形成 ☒ 環境の把握 ☒ 身体の動き ☒ コミュニケーション
学習 (集団) の実態	学部・学年・人数	☐ 通常の学級 ☐ 通級による指導 ☐ 特別支援学級 ☒ 特別支援学校 ☐ 就学前 ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☐ 高校生以降 ☒ 特定されない 9名
	対象の障害	☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 ☒ 知的障害 ☒ 肢体不自由 ☐ 病弱・身体虚弱 ☐ 言語障害 ☐ 自閉症 ☐ 情緒障害 ☐ LD(学習障害) ☐ ADHD(注意欠陥/多動性障害) ☐ その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	☒ 聞く ☐ 読む ☒ 見る ☐ 話す ☐ 書く ☒ 運動と姿勢 ☐ 計算する ☐ 推論する ☐ 日常生活活動 ☒ 社会性・コミュニケーション ☐ 不注意 ☐ 多動性・衝動性 ☒ 覚える・理解する ☒ 時間的・空間的・人的交流の制約 ☐ その他 本校は重度重複障害を合わせ有する児童生徒が通う学校であり、児童生徒全員が自分の思いを言葉にして表現することが難しい。他者とコミュニケーションをとるために、スイッチ等のAAC機器(拡大代替コミュニケーション機器)の活用や、それを通してAAC機器に慣れ親しむことが重要である。 また、本校の児童生徒は全員が隣接する沖縄療育園へ入所しており、高等部卒業後も沖縄療育園での生活を送っていく。施設での余暇の過ごし方のバリエーションが広がるように普段からAAC機器に慣れたい。
ICT活用 について	使用した支援機器・教材 の名称 (使用した支援機器・教材の 名称を記載。なお、特定の製 品に特化した実践の場合は製 品名を記載。)	・入カスイッチ・i-padmini(Mabeeeアプリ)・ipadタッチャー・Mabeee・ラジコンクレーン・ハサミ (Mabeeeに関して、電池の間に挟むタイプのBDアダプターでも代用可能) 
	活用のねらい (概要)	A コミュニケーション支援(☒ A1意思伝達支援 ☐ A2遠隔コミュニケーション支援) B 活動支援(☐ B1情報入手支援 ☒ B2機器操作支援 ☐ B3時間支援) C 学習支援(☐ C1教科学習支援 ☒ C2認知発達支援 ☐ C3社会生活支援) ①五感(聴覚・視覚・嗅覚・触覚・味覚)や前庭覚、固有覚に働きかけた活動を体験し、興味関心の開発や拡大、コミュニケーションへの意欲を培う。 ②補助具やAAC機器教材を活用し、野菜を収穫することができる。 ③様々な活動を通して、嬉しい、楽しい、嫌だといった気持ちや心の変化を教師や仲間と一緒に共有することができる。
	活用方法	①スイッチを押すことでi-padのMabeeeアプリのスイッチがONになる。 ②クレーンが作動し、ハサミを開いたまま固定しているクリップが外れ、ハサミが閉じ、ゴーヤの茎をカットする。
効果・評価	ICTを活用した授業での 子どもの様子や変容お よび授業の評価	スイッチを押したことでクレーンが動き、音が鳴ることでスイッチを押せたことを知る。 クリップが「パチン」とはずれ、ゴーヤがネットに落ちた時に教師が盛り上がる様子を見て児童生徒も喜ぶ。 職員が大いに褒めることで生徒も喜び、達成感を育てることにつながる。
資料	図・写真・表等 (生徒の写真は個人情報公開の 確認を取っているものとする。)	